

SEK幹部が大井基地構内で自損事故 社員に真の事実をあきらかにせよ

さる4月16日の早朝6時20分頃、大井車両所基地内の速度規制20km/hの標識に車が激突した。運転していたのはSEKの東京支社長である。自家用車で早朝出勤した際に自損事故を起こしたのである。

事故は、車のバンパーが大破し、ラジエータがムキ出しになり、標識は地上約20cm位のところで折れ曲がるという大変なものであった。

それだけではない。社員たちからは「支社長は酒臭かった」という声があがっているのだ。なかには事故後3時間経過した9時ごろになっても臭かったという声も出ているという。



また、SEKの社員が、現場の写真を撮ったところ、支社長は怒ってそのSEK社員の工具箱を蹴飛ばしたのだそうだ。これにはさすがにSEKユニオンも抗議し支社長は謝罪したそうだ。しかしなんでそんなに激昂するのか？

もし酒気帯び運転であれば大変な事である！一般道なら当然道路交通法違反であり逮捕である。公道ではないから許されるという問題ではない。会社は事実を明らかにするべきなのは当たり前である。

東海労新幹線地本はただちに会社に事実確認を行った。(続く)